

ビジネスプラン作成学

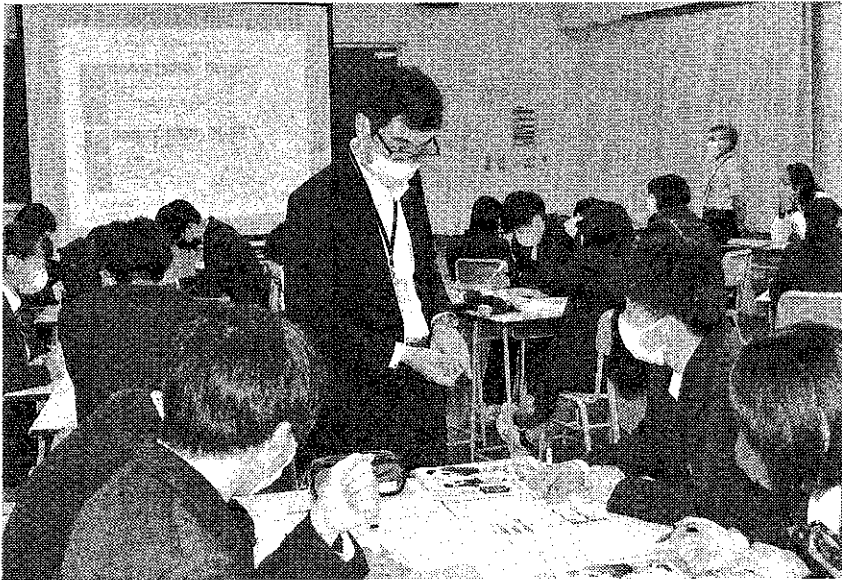
グラランプリ
参加に向け
白糠高で出張授業

日本政策金融公庫

【白糠】白糠高校（田村 信明校長）の3年生は今年度、総合的な学習の時間の一環で日本政策金融公庫が主催する「第9回創造力、無限大∞高校生ビジネスプラン・グラランプリ」に取り組む。ビジネスプラン作成に向けて8日、同公庫の出張授業が同校で行われた。

（水谷友路）

同グラランプリは全国の高校生と高専1～3年生が、自由な発想や創造力を生かした商品やサービスのビジネスプランを競うもの。3年生25人はグループごとにビジネスプランを作成し、校内で選ばれた1チームが同グラランプリにエントリーする。11月下旬にファイナリスト10組が決まり、来年1月に最終審査が行われる。



生徒にアドバイスする今野さん(中央)

出張授業は、初めてビジネスプランを作成する生徒にも安心して取り組んでもらおうと行われており、同公庫国民生活事業北海道創業支援センターの今野慈彦さんが講師を務めた。今野

さんは「ビジネスアイデアを考える最初のきっかけは『やりたいこと』『できること』『求められていること』を満たす『ビジネスの種類』を探すこと」と解説した。

生徒は3～4人のグループごとに時代や環境などによる消費者のニーズ変化について話し合い、「小中高生の勉強やコミュニケーションの場として公営塾のようなもの設ける」「時間がない高齢者や主婦のために買い物代行や移動販売を行う」などのアイデアを出し合っていた。

根本真菜さんは「困っている人に必要なものを考え、思いついたものをプランにする難しさを感じた。グループでアイデアを出し合えて面白かった」と話していた。